



花崎北小学校だより

学校教育目標 「かしこく やさしく たくましく」

令和7年度

10月号

児童数 228名

充実した秋に向けて

花崎北小学校長 刑部 香織

秋分の日を過ぎて、少しずつ暑さが和らいできました。「芸術の秋」「運動の秋」ということで、児童は図工での絵画制作や運動会に向けたスローガン決めに取り組んでいます。26日から市内陸上競技会に向けた練習を行っています（6年生）。もちろん「学習の秋」です。授業に真剣に取り組む姿も、多く見ることができています。

全国学力・学習状況調査（6年生）と埼玉県学力・学習状況調査（4～6年生）の結果について、学校全体の傾向をお知らせいたします。4月と5月に行った調査ですので、前年度（前学年）での取組結果となります。

<全国（6年生）>

- ・算数の平均正答率は国と県を上回ったが、国語と理科の平均正答率は国と県を下回った。
- ・国語の区分「書くこと」、記述式での回答は国や県の正答率を上回っており、自分の考えをまとめて表現することができる児童が多い。一方で、区分「読むこと」が低く、説明文等の要旨を捉えることや資料を読み取る力が弱い。
- ・算数は基礎計算力は身に付いているが「変化と関係」「図形」の正答率がやや低かった。
- ・理科は現象について知識は身に付いているが、なぜそうなるのかという思考や実験方法（条件制御、比較）についての理解が弱い。

<県（4～6年生）>

- ・6年生は国語、算数ともに平均正答率が県と市を上回ったが、4年生と5年生は県と市を下回った。
- ・国語において、「主語、述語、修飾語などの文の成分」を理解している児童は多いが、「情報の使い方、必要な情報を選び出す力」に課題が見られる。文章の要旨をつかんだり、要約したりすることが難しい。
- ・算数において、基礎計算力は身に付いているが、文章問題の意図を読み取ることが難しい児童が一定数見られる。
- ・質問紙調査より、全学年で「自分には良いところがある」「先生の話や友達の発表を聞き、自分の考えを伝えることができている」と答えた児童が7割以上で、「将来の夢や目標をもっている」と答えた児童は9割以上である。
- ・質問紙調査より、学年が上がるごとに「平日のゲーム（22時以降）」「平日のテレビ、インターネット、動画視聴（22時以降）」が多い傾向にある。

この結果を受けて、学校では課題を克服するためにどのように学習指導を改善するか検証し、実践していきたいと思います。また、日常生活や行事を通して、児童の「良さ」はそのまま伸ばしていきたいと思います。ご家庭でも、励ましの声かけと、見守りをお願いします。

